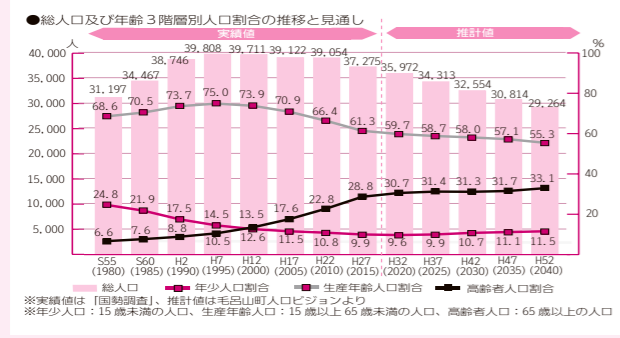


人口等の今後の見通しからみた課題

毛呂山町の人口は、平成7年の3万9千808人をピークに減少傾向が続いています。毛呂山町人口ビジョン（戦略人口）の将来人口推計では、平成52年に3万人を下回ると推測されています。人口減少に伴う利用率の低下や、人口構成に見合った施設再編について検討する必要があります。



6 未来のために 公共施設等総合管理計画

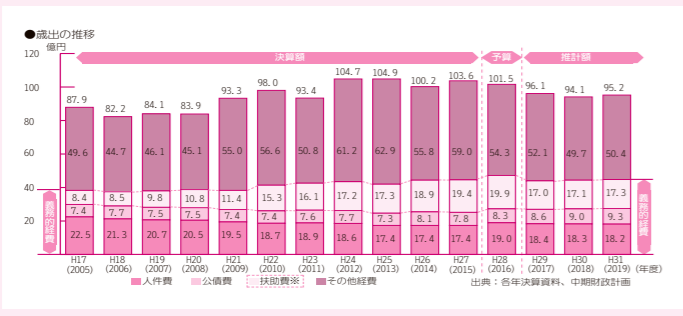
本シリーズも6回目を迎え、折り返しを過ぎました。今月号では、これまでにお伝えしてきた内容についておさらいします。

問合せ
役場企画財政課企画係
☎ 049 (295) 2112 ㊟ 323

財政状況からみた課題

生産年齢人口の減少に併せ、税収の減少が見込まれます。加えて、高齢化の進行に伴う扶助費の更なる増加が予想され、公共施設の維持管理に充てる財源の確保は一層厳しくなると推測されます。

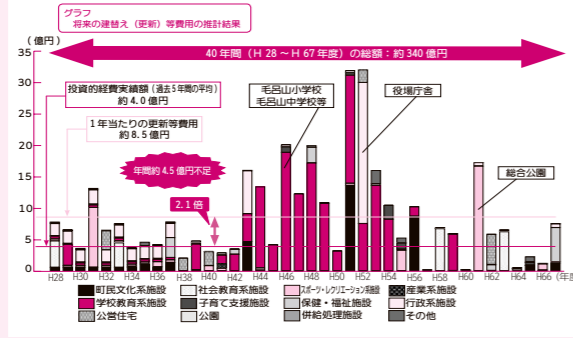
今後の財政状況を見据えて、施設の維持管理・運営にかかる費用の抑制や財源の確保を検討していく必要があります。



施設の現状からみた課題

建築後30年以上経過している公共施設が全体の約7割を占めています。大規模改修や建替えについて考える時期が迫っていますが、今ある施設全てを維持していくには、現在の2・1倍の費用がかかるかと推測されます。

また、加えて、道路や水道といったインフラ施設の老朽化に対する費用も必要となります。限られた財源の中で、安全・安心な公共施設運営を継続するために、適正な規模や配置を検討する必要があります。



このような課題を踏まえ、町では今後の公共施設の管理・運営（マネジメント）に関する基本原則を設定しました。次号ではその内容についてお伝えします。

町の無料相談

相談種類	日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ	
法律相談	弁護士	11/14(火)・27(月)	13:30 ~ 16:00	役場会議室	役場総務課☎㊟313 (要予約)
	行政書士	11/15(水)	10:00 ~ 15:00	役場会議室	役場総務課☎㊟313
人権・行政相談	11/9(木)	13:30 ~ 16:00	役場会議室	役場総務課☎㊟313	
入間西障害者相談支援センター出張相談会	11/1(水)	10:00 ~ 12:00	保健センター	役場福祉課☎㊟116・117 ☎049(295)2126	
成人健康相談	11/1(水)	9:00 ~ 12:00	保健センター	保健センター☎049(294)5511	
電話健康相談	平日	9:00 ~ 17:00	保健センター☎049(294)5511		
もの忘れ相談会	毎月第3木曜日	10:00 ~ 12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎049(295)2112㊟156・157	
子育て相談 なんでも話してみよう	11/10(金)	10:00 ~ 11:00	役場相談室	子育て支援センター ☎049(294)4820	
	11/24(金)		子育て支援センター		
教育相談	平日	10:00 ~ 16:30	教育センター☎049(295)2525 (電話相談可)		
心配ごと相談	毎週水曜日	10:00 ~ 12:00	社会福祉協議会(ウイズもろやま内)	☎049(295)3111	
消費生活相談	毎週火曜日	10:00 ~ 15:00	役場相談室	役場産業振興課☎㊟214	
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外	平日	8:30 ~ 17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (ウイズもろやま内) ☎080-2274-1445		

歴史散歩

第281回
幻の獅子舞
～出雲伊波比神社の獅子舞～

10月は大類・川角・滝ノ入・葛貫の町内4ヶ所で獅子舞が行われる獅子舞の月ですが、かつては出雲伊波比神社にある旧八幡宮でも獅子舞が行われていました。

江戸時代の資料によると旧八幡宮の祭礼の8月15日に流鏝馬があり、獅子舞も行われていたと記されています。獅子舞と流鏝馬をともに行う例は県外の他所でも見られ、流鏝馬を行う前の獅子舞は馬場の露払いや清めといった意味が込められていたようです。

獅子頭を納めていた箱には「鎮守／八幡大神／禮祭道具／七ヶ村惣氏子中／明治五年壬申八月日」と墨書され、別の面には「武蔵國入間郡／小田谷村／長瀬村／前久保村／平山村／堀込村／馬場村／毛呂本郷／右七ヶ村奈里」と江戸時代からの7村の村名が記されていました。

明治元年、明治政府より神仏分離令が出され、長らく神仏習合を慣例としてきた寺院と神社が分離し、ともに行ってきた儀式も一方に所属することとなりました。また、明治4年(1871)の廃藩置県以後、毛呂山町域は入間県に属し、



出雲伊波比神社の獅子頭と太鼓

明治5年(1872)3月には区政が敷かれ、従来の村名はそのままですが県内を大区・小区に分けるなど、各村にとっても当時はめまぐるしい変動期だったといえます。さらに、明治12年(1879)には流鏝馬と獅子舞を同時に行うこの村々で、必ず獅子舞を奉納することを約束しあう文書も交わすなど、激動の中で村々は結束して獅子舞を維持しようとしていたようです。

出雲伊波比神社の獅子舞は戦前まで行われ、戦後に復活して女獅子隠し・竿掛り・花吸いなどの演目が3人の獅子、4人の女兒によるササラッコ(花笠)とハイオイとともに奉納されましたが、その舞は今日では幻の舞となっています。